

令和3年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1003

施設名	伊丹市立美術館		
施設の設置目的	市民の美術に関する知識及び教養の向上並びに芸術の振興を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱：市民力・にぎわい・活力 施策：歴史・文化 実施施策：芸術・文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館(東リ いたみホール)内		
選定方法(公募・非公募)及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	事業件数 (単位： 件)	
	指標の意味	年間の事業件数	
	今年度の目標値	5	今年度の実績値 5

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3(上期)	R3(通期)
	来館者数(人)		12,727	53,671	77,146	36,538	8,074	0
延べ事業開催回数(回)		6	18	20	42	16	8	12
延べ事業参加者数(人)		12,727	53,671	77,146	36,538	8,552	338	998

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

区分		令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	3カ年平均		
指定管理者の収支	収入	使用料収入	16,645	4,217	55	6,972	
		事業収入	9,521	1,498	1,325	4,115	
		その他	0	5,277	694	1,990	
		指定管理委託料	71,365	62,661	45,983	60,003	
		①合計	97,531	73,653	48,057	73,080	
	支出	維持管理	光熱水費	7,309	5,097	1,719	4,708
			清掃等委託料	7,251	5,106	2,729	5,029
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	1,066	701	194	654
		運営	人件費	34,791	32,935	30,661	32,796
事業等経費	42,572		13,029	10,168	21,923		
その他	1,316		1,141	858	1,105		
指定管理納付金	0	0	0	0			
②合計	94,305	58,009	46,329	66,214			
純収支(①-②)		3,226	15,644	1,728	6,866		

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※		H28	H29	H30	R元	R2	R3
<単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	60	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	78,969	71,037	73,623	71,855	66,310	46,447
	(内、指定管理委託料)	69,188	69,777	73,136	71,365	62,661	45,983
	実質経費(歳出-歳入)	78,969	71,037	73,623	71,855	66,250	46,447

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	—	再オープンに向けて市と調整しながら、設備維持のための保守点検を適宜行った。備品管理や修繕業務についても適正に実施。	—	工事にかかる設備や仕様の確認等、市と適宜協議し、工事が順調に進められた。備品台帳も整備できている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	—		—	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	感染症対策として休憩時間をずらしたほか、緊急事態宣言中は出勤者を減らし、職員配置を調整した。	B	必要な職員、防火管理者の配置はできている。密を防止した勤務体制も行っていた。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	非常時に迅速に対応できるように、連絡体制を整備している。文化会館の消防訓練に参加。	B	緊急時の連絡体制は整備できている。避難訓練も他館と合同で実施。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	事業実施の際に寄せられた意見・要望等に対しては、迅速な対応を行った。	B	アンケートは更に回収率を上げ、サービスの向上に努められたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	工事仮囲いを利用した事業や、文化会館でのワークショップを行い、再オープンへの期待につながるような事業を展開した。	B	休館中であつたが再開時に繋がる事業及びアウトリーチ事業が行っていた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護方針を順守し運用している。	B	ホームページや市広報紙等を活用した情報提供など適切に行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行した。	B	収支計画に基づき適正で、経理処理も適切にできている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「—」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	再整備工事による休館中であるが、仮囲いプロジェクトやクスノキアートプロジェクトなど再オープン後の来館に繋がる効果的な事業を実施。事務所移転をはじめ、再開時の事業準備など適切に行っていた。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年 月 日～令和 3年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		
0		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置